



2005 年度第 4 号



やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校 理事会通信

2005 年 7 月 2 日

補習校の将来像を検討する委員会（仮称）



日本語補習校は、学校便覧にも書かれていますように、日本語による、日本語を中心とした学習を通して、当地で生活する児童生徒が日本へ帰国した時、日本の学校や、社会に適応できる素地を養うことを基本方針としています。

昨今、児童生徒の日本語能力差が拡大しつつあり、また所謂永住組、駐在組で本校教育内容への期待値は大きく異なってきており、基本方針に従った教育ではあっても、多様な対応を求められています。これまで機会あるごとに、教育現場、保護者会、また理事会で、この事が問題視され、議論もなされてきましたが、基本的な問題解決には至っていません。

つまり「めざす将来の学校像」が見えていないのです。

これは本補習校を、どういう方向へ持っていくのかという、本質的な問題であり、もうこれ以上結論を出すのを先送りすべきではなく、本格的に取り組んでいこうとの理事会決定をもとに、補習校の将来像を検討する委員会（仮称）なるものを設置しました。委員会へは、まずはあらゆる方面からご意見をお伺いすることにより、現状分析を行い、その結果から問題点を抽出し、「めざす将来の学校像」を理事会に答申していただくよう諮問しました。今年中に理事会決定、来年の総会で最終決定と言う手順で行いたいと思います。委員会は、理事若干名、保護者代表若干名で構成され、現在人選が進められています。詳細は次号のやまなみでお知らせいたします。

保護者の皆様、先生方のご理解と、多大なご支援をお願いいたします。（浅尾理事長）

学務委員会の改組による「高等部委員会」「校務委員会」の設置について

これまで理事会では、本補習校の教育にかかわる事柄について学務委員会が担当してきましたが、今年度より高等部が文部科学省派遣教員の直接の指導を受けない体制に移行したため、理事会の扱うべき事柄が高等部と小・中学部において異なることが本年度 4 月よりの運営の中で判明しました。たとえば、高等部校長は現在理事長が兼務しており高等部教頭（2 名）は浅尾高等部校長に各種の報告をし判断を仰いでいます。一方、小・中学部の教育は、従来どおり派遣教員の岩崎校長先生と 4 名の教頭先生におまかせしていますが、派遣教員の先生方と理事会との関係、現場のニーズへの理事会の対応について、再検討の必要性が指摘されていました。

そこで、これらの事柄に効率的で一貫した対応をするため、6 月 16 日に開催された第 2 回理事会において、高等部委員会を設置すること、さらに学務委員会を校務

委員会と改称し役割を明確化することが了承され、即日実施されました。

校務委員会は、従来総務委員会で担当していた学校安全に関する事柄のうち、授業日における校内の安全に関する事柄も担当することになりました。

高等部委員会は、浅尾理事長 / 高等部校長（委員長、SJ 校担当）、長岡理事（SJ 校担当、総務委員兼務）、喜多理事（SF 校担当、校務委員兼務）と千田理事（SF 校担当）、岩崎校長（顧問）で構成されます。

校務委員会は、安第 2 副理事長（委員長）、加地理事（小 SF 校担当）、鶴下理事（小 SJ 校担当）、喜多理事（中 SF 校担当、高等部委員兼務）、松波理事（中 SJ 校担当、総務委員兼務）で構成されます。

中学部、高等部 SF 校球技大会（安栄）

6 月 25 日、少し肌寒い天気ではありましたが、中学部・高等部サンフランシスコ校合同球技大会を開催しました。中 1・中 2 グループ、中 3・高校生グループに分かれ、バスケットボール、ドッジボールの 2 種目に汗を流しました。

競技に先立ち行った開会式では、ご来賓の村山理事から日本式のエールを頂き、生徒も気持ちを盛り上げました。高校生岩見君、中学生山本さんの力強い選手宣誓の後、高校 2 年生が考えてくれた準備体操で体も心も十分ほぐし、いよいよ試合開始です。



各クラス、ユニフォームをそろえたり、ヘアスタイルを工夫したりと外見も楽しませてくれましたが、やはり、一番盛り上がったのは試合そのものです。上級生に完膚無きまでやっつけられた試合もあれば、逆に、下級生が接戦を制した試合もあつたりと、全試合見ごたえ十分な内容でした。全試合終了後には、球技大会委員が企画したクラス対抗リレーでも盛り上がりしました。

閉会式では球技大会委員長の岡本さんが「・・・80 歳になっても今日の楽しい思い出は忘れません。皆さん、来年も頑張ってくださいね。」と素敵な挨拶で締めくくってくれました。

この日に向けて、少ない時間の中で準備してくれた球技大会委員。朝からお手伝い頂いたボランティアの皆様。最後まで声援を送ってくださった保護者の皆様。ありがとうございました。そして何よりも、ゲームに、応援に一生懸命取り組んだ生徒たちに、もう一度、大きな拍手を送りたいと思います。

中学部、高等部 SJ 校スポーツ大会（西村）



曇り空の中、サンノゼ中学部高等部合同スポーツ大会が始まりました。サッカー女子日本代表 GK 山郷のぞみ選手も選手激励に訪れてくれました。

種目は、サッカー・バスケットボール・ドッジボール・代表リレーの4種目。

今大会では、次の三つの点で大きな成果がありました。

一つ目は、今回の大会のねらいでもある、相手に対する敬意をはらうことについて、とてもよく出来ており、勝利を目指すものの、和気あいあいとした雰囲気ゲームが行われたこと。スポーツの原点は楽しむことであり、これが出来ない、後味の悪いものになってしまいます。

二つ目は、スポーツの得手不得手に関係なく、みんなが参加していたこと。一部のスポーツ好きの生徒だけが出場し、参加しない者もいるという状態では、とてもクラスのまとまりは期待できません。みんなで参加し、スポーツの苦手な生徒の分も、みんなで助け合う中で各クラスのまとまりが出来てくるものです。今年の大会は、各クラスのまとまりを感じさせてくれました。

そして三つ目は、今年度より、中学部と高等部がわかれ、普段なかなか交流することができませんでしたが、中高の交流という面でも成果があったように思います。閉会式における生徒の顔が、今大会の成功を物語っていました。

お忙しい中お手伝いいただいたボランティアの方々など、今大会を支えてくれた多くの方々に、感謝申し上げます。

小学部 SF 校運動会（菅野）

6月11日、まれに見る晴天の下、小学部サンフランシスコ校の運動会が開催されました。



各学年の徒競走では、力強い走りが見られました。1年生は玉入れで短い時間にたくさんの玉をかごに入れることができました。2年生の「棒としない」では、3人で息を合わせて小さくまわるよう工夫していました。3年生は「それ行け救球者」、ボールを落とさないように気を付けて上手に走りました。4年生の「みんなでフラダンス」、フラダンスのフープがかわいらしかったですね。5年生の仮装障害物競走では仮装して走るのはいへんでしたが、ユニークな仮装に見ている方は盛り上がりました。6年生の「親子でドン！」では、親子ならではの呼吸の合った競技でした。

1・2年生のなかよしサンバ、思わず体が動き出すかわいい演技でした。3・4年生の綱引き、両者引き分けの熱戦でした。5・6年生の騎馬戦、さすが迫力がありました。ご声援ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

小学部 SJ 校運動会（夏越）

6月4日、カリフォルニアの青空のもと、サンフランシスコ日本語補習校小学部サンノゼ校では、LP Collins Elementary Schoolの校庭を借用して、第20回運動会を実施しました。



徒競走や障害物競走で健脚を競い、綱引きでは赤組白組それぞれが心一つにして、力いっぱい一本の綱を引きました。各学年では、ダンスやスプーンリレーなどの趣向を凝らした競技に取り組み、5・6年生は騎馬戦で今年も迫力ある肉弾戦を披露してくれました。

赤組も白組も、みんなで心一つにして応援・競技し、自分の力をおおいに発揮した運動会でした。

また、保護者の皆様には運動会の準備や後片付けばかりでなく、競技の準備などもお手伝いいただき、スムーズな進行を支えていただきました。ありがとうございました。

シアニーニ校50周年記念募金

小学部 SF 校の借用校 A.P. Giannini Middle School は1954年に開校し、この一年間50周年を祝っていました。日頃お世話になっておりながら、補習校より支払っている借用料は借用校に入らず School District へ行くため、借用校への感謝を示す機会でした。それで理事会の決定により\$2,000を50周年記念募金へ寄付することとなりました。これにあたって校長先生の Ms. Leslie Trook が運動会を訪れしばし観戦、スピーチもいただきました。こうして両校の協力関係が今後も友好的に続いていくことを願います。



事務局よりお知らせ（写真左より）Trook 校長、村山理事 岩崎校長、千田理事

夏休み期間中の事務局営業日について

夏期集中学習以降の夏休み期間中、事務局の営業日は月曜日から金曜日までとなります。また、8月1日(月)から5日(金)まではお休みを頂きますのでご了承下さい。

人事異動

休職 小 S J 稲葉 千草 6月21日付

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。

発行人：浅尾一郎

San Francisco Japanese Language Class, Inc.

760 Market Street, #816, San Francisco, CA 94102

電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542

電子メール：理事会・事務局 office@sfjlc.com、学校 sfjlc@msn.com

ホームページ：http://sfjlc.com

理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等には一切お答えいたしかねます。

無断複製・転載を禁ずる。©2005 All rights reserved.